

ハルバ嶺における試掘調査について



平成21年2月27日(金)
第2回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

ハルバ嶺発掘・回収事業 2008年度試掘概要

試掘の目的

○2号坑で試掘を実施

・発掘・回収装置の仕様を決定するために、砲弾の埋設状況、土砂の状況、埋設砲弾の種類等を詳細に把握する。

・発掘・回収装置での発掘・回収が困難な砲弾等を人手で発掘する場合の発掘方法、安全対策などについて検証する。

具体的には、埋設坑表面部を対象に、少量の砲弾等の発掘を実施する。

2008年度試掘結果

・期間

事前準備:2008年7月31日～8月25日

試掘調査:2008年12月13日～

2009年1月20日まで

・発掘砲弾数:661発(うち、化学砲弾等641発)
・発掘時の事故等はなく、人手による発掘の安全性を検証した。

・一部の砲弾等が岩盤の影となる位置に埋設されていたこと、木材等の比較的大きな介在物が存在していたこと、埋設されている砲弾はお互いに強固に固着しているものが多数見られたこと、などが確認できた。

これらの結果については、次年度の試掘計画へ反映する。

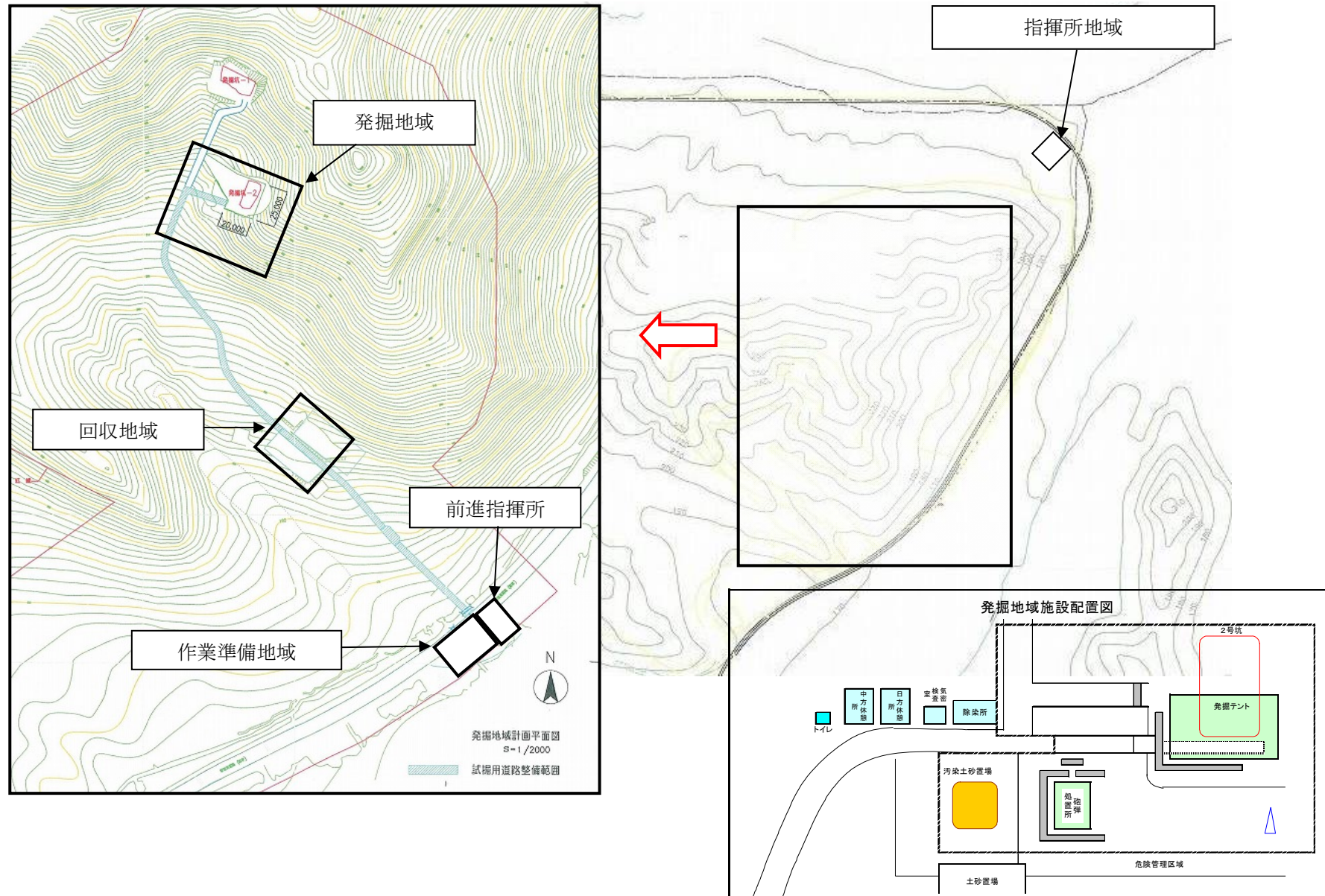
次年度計画

○1号坑及び2号坑の試掘の継続実施

- ・調査項目について定量的な調査を行い、埋設砲弾の弾種、埋設状況等を把握する。
- ・埋設坑の垂直方向における砲弾埋設状況を確認する必要があるため、まとまった量の埋設砲弾等を発掘する。
- ・試掘時期については、今後の日中協議で決定。(冬期作業を避けるため、11月までに実施予定)
- ・試掘計画については、2008年度の試掘計画を基本として検討。

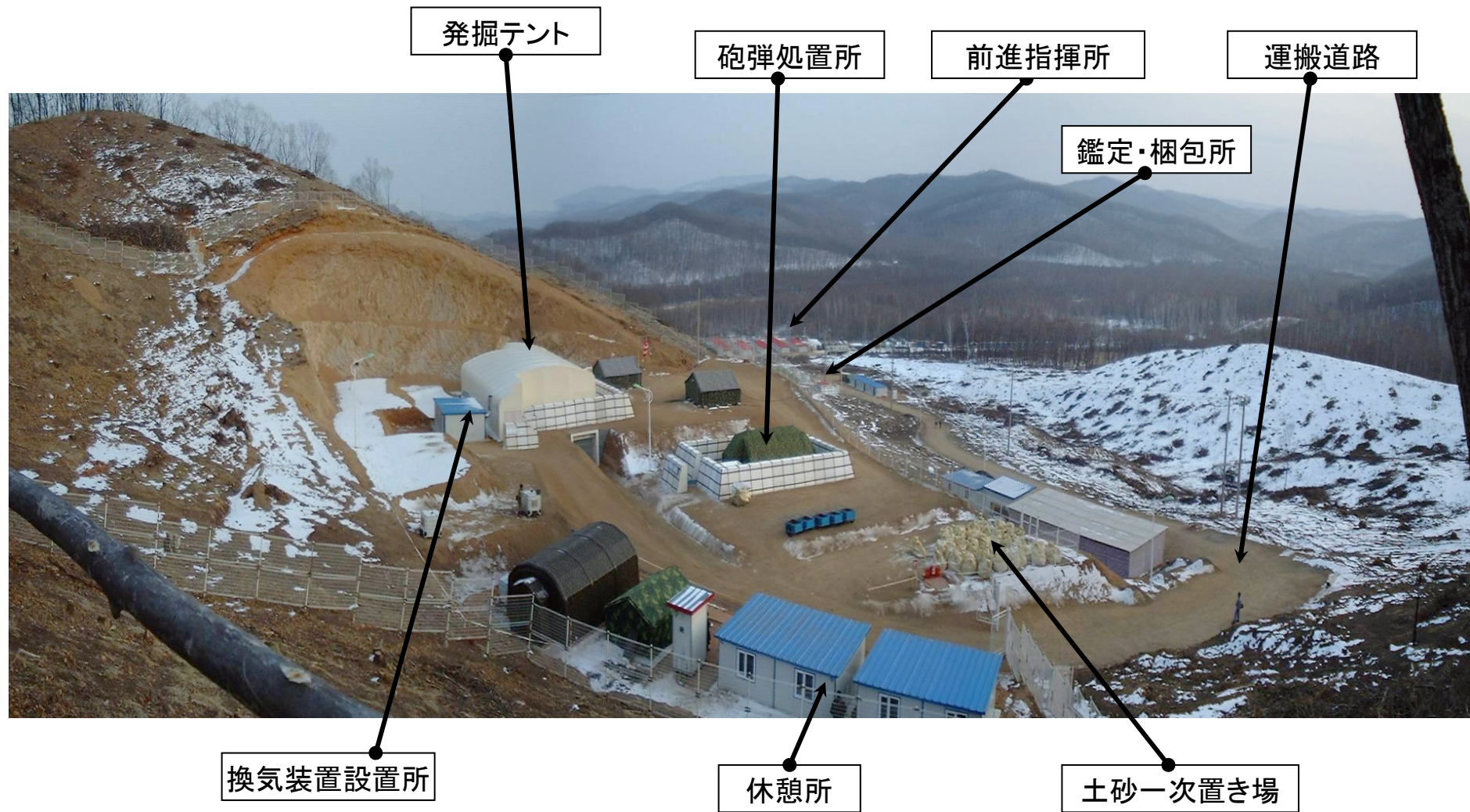
ハルバ嶺発掘・回収事業 2008年度試掘施設設置状況

ハルバ嶺試掘施設配置図

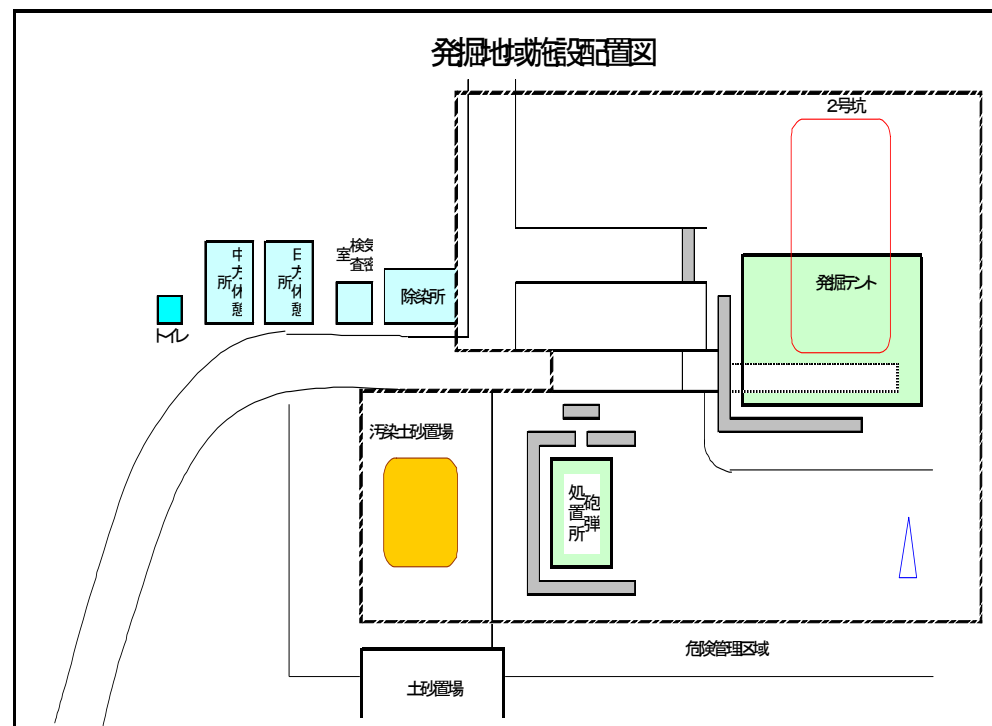


ハルバ嶺発掘・回収事業 2008年度試掘施設設置状況2

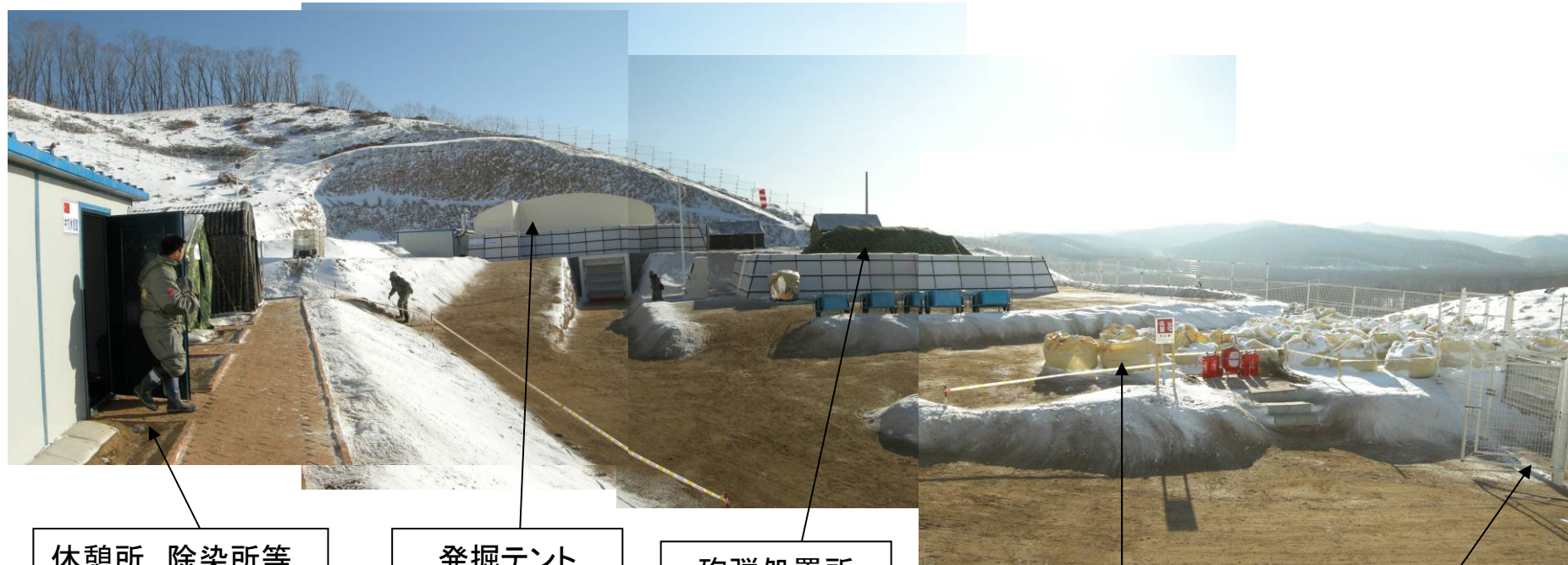
<施設配置状況>



ハルバ嶺発掘・回収事業 2008年度試掘施設設置状況3(発掘地域)



ハルバ嶺発掘・回収事業 2008年度試掘施設設置状況4(発掘地域)



休憩所、除染所等

発掘テント

砲弾処置所

土砂置き場

ゲート



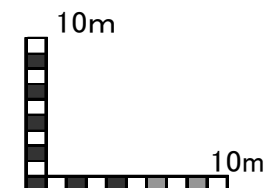
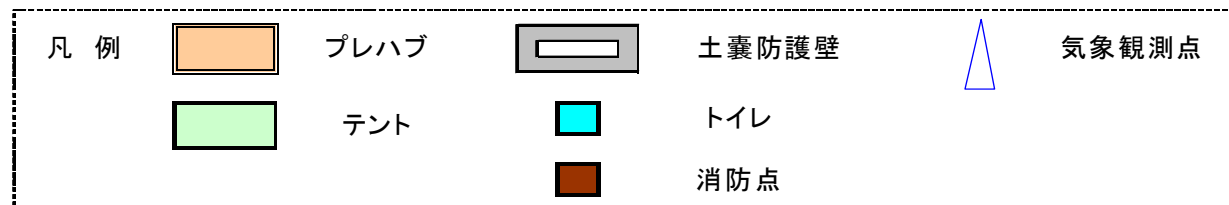
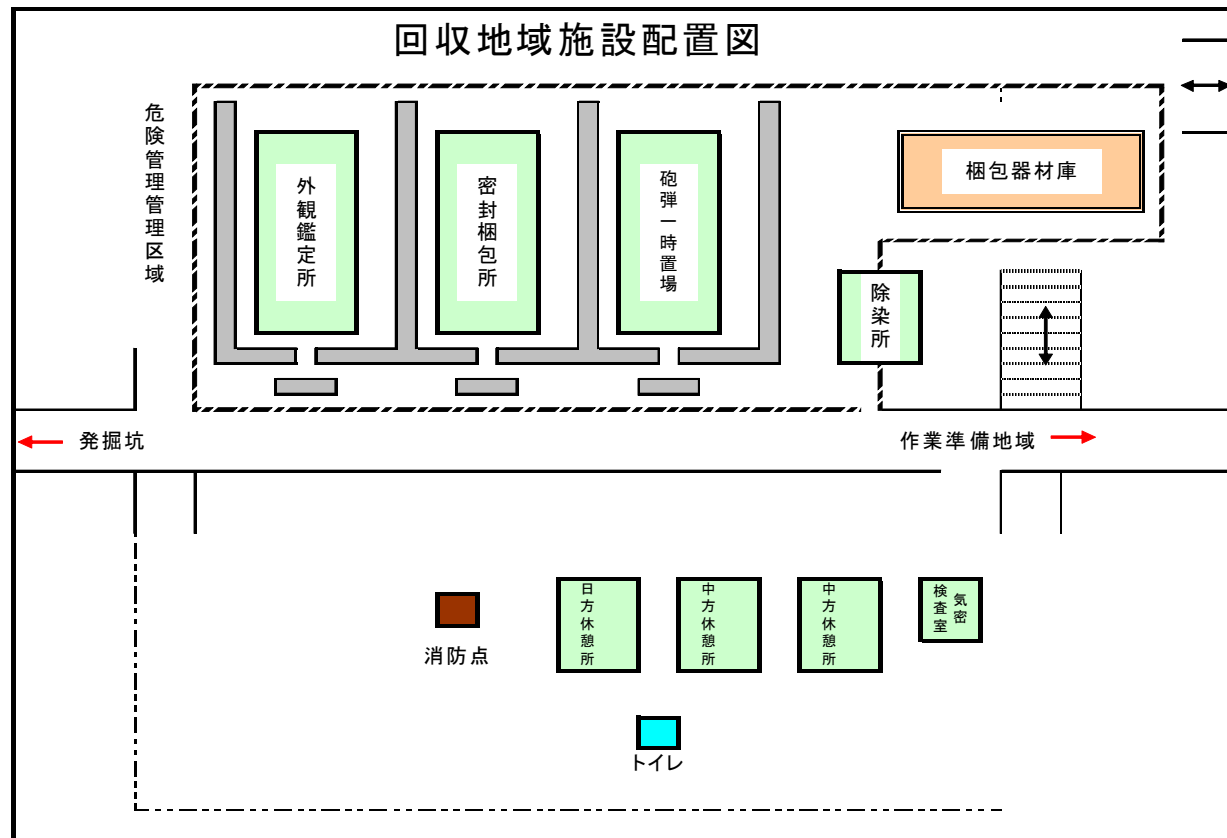
1号坑側より撮影



1号坑



ハルバ嶺発掘・回収事業 2008年度試掘施設設置状況5(回収地域)



ハルバ嶺発掘・回収事業 2008年度試掘施設設置状況6(回収地域)



前進指揮所側から撮影



発掘坑側から撮影



鑑定、梱包施設



気密検査室



休憩所等

ハルバ嶺発掘・回収事業 2008年度試掘調査実施状況(1)

概要

・2008年12月13日から同月23日まで及び、2009年1月8日から同月20日まで、2号坑の試掘調査を実施。

<2号坑南側>



丸太

ワイヤー等

丸太、ワイヤー等は、
1996年の調査時に
土留めとして使用さ
れたものと思われる。



砲弾の埋設状況。重なり具合が乱雑。また、
各砲弾は錆びがひどく、個々の砲弾同士が
固着しているものが多い。



垂直状態で埋設さ
れている砲弾

ハルバ嶺発掘・回収事業 2008年度試掘調査実施状況(2)

＜発掘箇所全景＞



＜発掘された砲弾等＞



試掘後の2号坑
(発掘箇所を土
嚢＋通気遮断
シートで覆って
いる。)



ハルバ嶺発掘・回収事業 2008年度試掘調査実施状況(3)

<発掘>



<化学剤検知>



<仮梱包>



<外観鑑定>



<密封梱包>

